

## 教職員の休憩時間及び持ち帰り仕事等の実態調査結果について

### 1 調査の概要

#### (1) 目的

教職員の働き方改革における効果的な方策立案等に資するため

#### (2) 対象校

市町村立小学校 20 校及び中学校 10 校、県立高等学校 6 校及び特別支援学校 2 校の計 38 校（抽出）

#### (3) 対象者・回答数

校長、副校長・教頭、主幹教諭、教諭・講師、養護教諭等、栄養教諭等、事務職員、寄宿舎指導員等、実習助手（常勤かつ本務職員に限る）

1,005 名が回答（一部、無効回答有）

#### (4) 調査内容

- ・ ワーク・ライフ・バランスに係る意識
- ・ 勤務日 5 日間の休憩時間の状況
- ・ 週休日を含めた 1 週間の持ち帰り仕事の状況

#### (5) 調査方法

令和 5 年 9 月から 11 月の間、各対象校で任意に定めた 1 週間における上記(4)の実態を、教職員が個別に、所定の調査様式に記入する形式

### 2 今年度のワーク・ライフ・バランスに係る意識

#### (1) ワーク・ライフ・バランスの肯定的回答※（令和 5 年度）

※ 「肯定的回答」は、ワーク・ライフ・バランスが「取れている」又は「どちらかというど取れている」回答を合わせた数

##### ① 全校種

令和 5 年度 58.8% (R4 : 53.7%、R3 : 43.2%、R2 : 64%、R1 : 57%、H30 : 45%)

##### ② 校種別、年齢別、職別、学級担任有無別

校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	全校種
肯定的回答	59.8%	47.7%	57.0%	69.4%	58.8%

年齢別	30 才以下	31～40 才	41～50 才	51～60 才	61 才以上
肯定的回答	63.2%	53.6%	60.2%	57.2%	63.3%

職別	校長	副校長・教頭	主幹教諭	教諭・講師	養護教諭等
肯定的回答	84.9%	37.3%	61.5%	53.8%	80.9%

職別	栄養教諭等	事務職員	寄宿舎指導員等	実習助手等
肯定的回答	62.5%	82.2%	100.0%	68.8%

学級担任	担任有	担任無
肯定的回答	50.8%	66.5%

- ・ 職別でばらつきが大きく、特に副校長・教頭の肯定的回答が低い。
- ・ 学級担任でない者の方が、学級担任に比べ肯定的回答が 15.7 ポイント高い。

(2) ワーク・ライフ・バランスの阻害要因（全校種、校種別）

ワーク・ライフ・バランスが「どちらかというと取れていない」又は「取れていない」と回答した者において、その阻害要因を尋ねた（複数回答可）。

要 因	全校種 (割合)	校種別（上位5位）			
		小学校	中学校	高等 学校	特別支 援学校
学習指導・学習内容の対応	①16.1%	①17.8%	④13.0%	②15.0%	①21.0%
校務分掌業務	②15.3%	②17.1%	②13.8%	③14.6%	②16.0%
児童生徒支援、特別支援対応	③12.5%	③16.2%	③12.6%	⑤ 9.4%	⑤ 8.7%
校務に係る事務作業（会計、文書作成等）	④11.7%	④12.2%	⑤ 9.8%	④11.8%	③15.1%
部活動に係る業務	⑤ 9.6%		①15.4%	①19.9%	
保護者対応	⑥ 7.6%				
教員欠員による業務負担	⑦ 7.1%				
教育委員会からの調査・照会等業務	⑧ 6.2%	⑤10.1%			
ICT活用、タブレット端末等の対応	⑨ 5.1%				
私生活上の要因	⑩ 4.4%				④10.0%
感染症に係る対応	⑪ 1.5%				
その他	⑫ 2.9%				

(注)「%」は全回答に占める割合。丸数字は、全校種又は当該校種での順位

3 休憩時間の状況について

- ・ 休憩時間の割振りは、教職員の服務監督権者である教育委員会（例：県立学校の場合は県教育委員会）に権限があるが、多くの場合、教職員を直接監督する校長への委任・専決事項となっている。
- ・ 学校によって設定している時間帯は異なり、多くの場合、授業日と夏季休業等の長期休業中の勤務日で設定を変えて運用（例：「授業日は1回目の休憩時間を13:05から13:35、2回目を16:00から16:30と分割。長期休業中は12:00から13:00の1時間で設定」）

(1) 全校種、校種別の休憩時間の取得状況

勤務日（5日）の 休憩の状況	全校種		校種別			
	人数	割合	小学校	中学校	高等 学校	特別支 援学校
全て休憩できた	176	18.0%	10.8%	11.5%	33.2%	21.1%
一部休憩できなかつた	551	56.4%	48.7%	59.0%	53.7%	65.2%
全く休憩できなかつた	250	25.6%	40.5%	29.5%	13.1%	13.7%
計	977	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 5日間ともに「全く休憩できなかつた」と回答した職別の割合

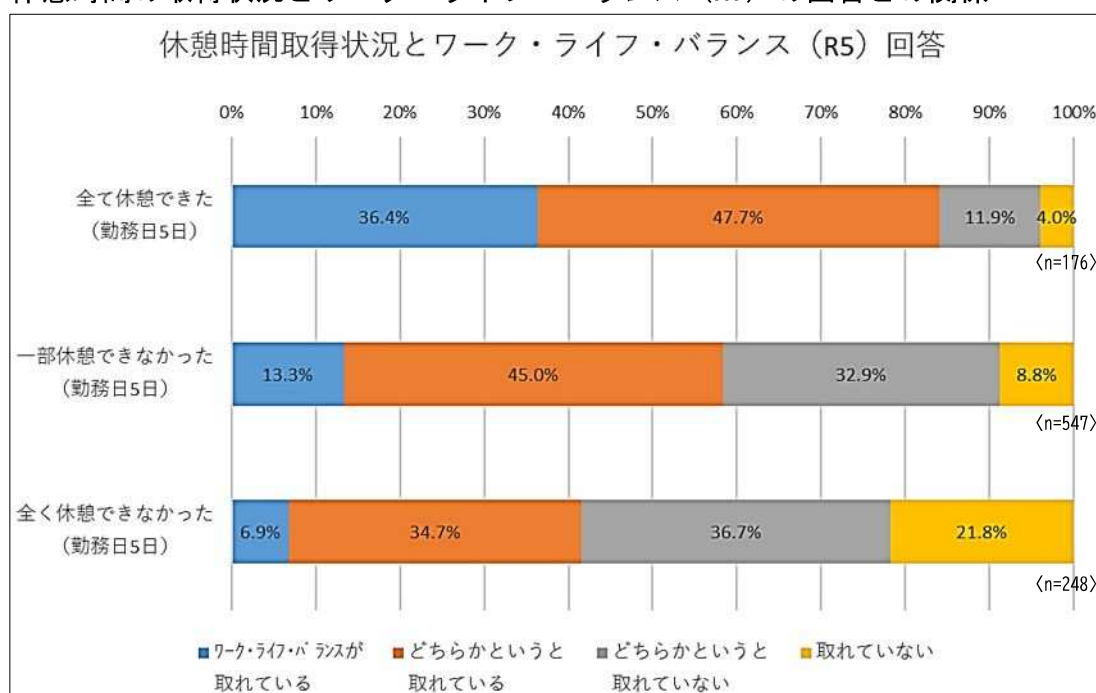
職別	校長	副校長・教頭	主幹教諭	教諭・講師	養護教諭等
割合	6.1%	15.9%	33.3%	29.4%	16.3%
職別	栄養教諭等	事務職員	寄宿舎指導員等	実習助手等	
割合	25.0%	9.1%	8.3%	6.3%	

(3) 休憩ができなかった理由（複数回答可）

理 由	全校種	校種別校種別（上位5位）			
	割合	小学校	中学校	高等 学校	特別支 援学校
児童生徒への指導	①25.8%	①25.1%	②21.5%	②20.5%	①37.2%
授業準備、片付け	②24.7%	②23.7%	①22.4%	①29.6%	②25.9%
校務分掌業務	③13.0%	④11.6%	③15.0%	③15.6%	③11.7%
学習評価（採点含）	④ 8.1%	③13.0%	④ 6.9%	⑤ 5.9%	
学級等事務（文書作成、会計等）	⑤ 7.1%	⑤ 7.7%			④ 8.1%
会議、打合せ、研修（準備含）	⑥ 5.7%				⑤ 5.6%
行事等の対応	⑦ 5.0%				
保護者を含む外部への対応	⑧ 4.5%				
部活動に関する業務	⑨ 3.1%		⑤ 6.8%	④ 8.6%	
その他	⑩ 3.0%				

(注)「%」は全回答に占める割合。丸数字は、全校種又は当該校種での順位

(4) 休憩時間の取得状況とワーク・ライフ・バランス（R5）の回答との関係



#### 4 持ち帰り仕事の状況について

##### (1) 全校種、校種別の持ち帰り仕事の有無

7日間における 1日以上の持ち帰り 仕事の実施状況	全校種		校種別			
	人数	割合	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
行った	532	53.8%	59.6%	52.7%	47.4%	52.7%
行っていない	457	46.2%	40.4%	47.3%	52.6%	47.3%
計	989	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

##### (2) 持ち帰り仕事を1日以上「行った」と回答した職別の割合

職別	校長	副校長・教頭	主幹教諭	教諭・講師	養護教諭等
割合	27.3%	31.8%	53.8%	62.8%	18.6%
職別	栄養教諭等	事務職員	寄宿舎指導員等	実習助手等	
割合	50.0%	17.8%	0%	6.3%	

##### (3) 持ち帰り仕事を行った日数と時間

校種	実施平均日数	1回あたりの平均実施時間		
			勤務日	週休日・休日
小学校	3.9日	86.4分	70.9分	127.1分
中学校	3.6日	97.1分	75.0分	139.2分
高等学校	3.2日	90.7分	72.4分	133.3分
特別支援学校	3.0日	77.6分	64.8分	104.9分
全校種	3.4日	87.8分	70.8分	126.4分

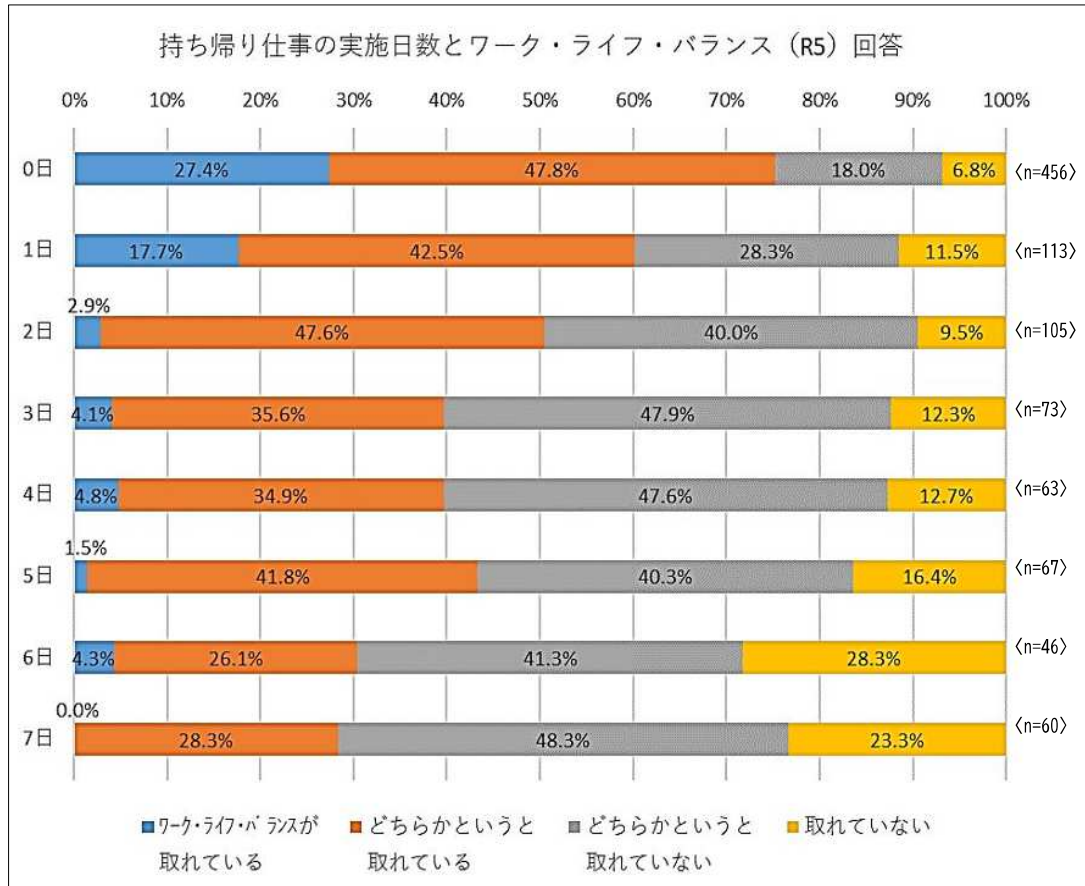
(注) 平均実施時間は、回答の中間値を実施時間とみなして算定(例:「30分以上1時間未満」と回答した場合、実施時間を45分として算定)

##### (4) 持ち帰り仕事の内容(全校種、校種別)

内容	回答数	割合
授業の準備に関すること	1346	50.9%
授業の整理・評価に関すること	395	15.0%
校務分掌に関すること	363	13.7%
生徒指導、児童生徒支援に関すること	123	4.7%
部活動に関すること	117	4.4%
校内研修に関すること	81	3.1%
その他	218	8.2%

(5) 持ち帰り仕事の状況とワーク・ライフ・バランス（R5）の回答との関係

① 持ち帰り仕事をを行った日数とワーク・ライフ・バランスの関係



② 持ち帰り仕事の実施時間とワーク・ライフ・バランスの関係

